

2015年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

◎はとりまとめ組織 ○は検計・連携組織

基準	評価項目	2015年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準1】 理念・目的	(教学企画部) ■評価項目No.101 教育にかかる基本方針は設定されていますか。	「建学の精神」と整合性のとれた基本方針を策定し、関連する各方針との検証を行う必要がある。【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部 ○学長室(企画推進)	長期計画における時限的な「教育にかかる基本方針」が大学の「教育の理念・目的」となっていることを認識し、基本方針の位置づけについて本質的な議論を開始し、再構築をはかる。
【基準2】 教育研究組織	(教学企画部) ■評価項目No.201 教育組織(学部・学科・専攻等)は、建学の精神や教育理念・目的を実現できる組織として編制されていますか。	「建学の精神」、「教育にかかる基本方針」と整合性のとれた教育組織の編制原理の策定が望まれる。【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部 ○研究部	関係組織が連携を図り、教育研究組織の編制原理を策定する。
	(研究部) ■評価項目No.201 付置研究所・センター等の研究組織は、理念・目的に照らして適切なものですか。	研究組織の編制原理を明確に定めていただきたい。【努力課題】		
【基準4】 教育内容・方法・成果	(教学部) ■評価項目No.413 学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員(教職員及び学生等)に周知され、社会に公表されていますか。	依然、6つの観点(領域)別における教養教育科目と専攻科目の対応や、DP、DPに定める「学生に保証する基本的な資質」とCPとの整合性や各授業科目との関係性についての学生への明示方法は課題として残されている。DP、DPに定める「学生に保証する基本的な資質」とCPの学生への周知方法や、履修要項やシラバスの改善とともに、「実質化」と適切な「可視化」について継続して検討する必要がある。【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2012年度からの全学的課題事項として、現在、当該組織である教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と教養教育センターが連携して取り組む。
	(教学部) ■評価項目No.421 教育課程編成・実施の方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	導入している「グレイドナンバー制」と「配当年次」(配当セメスター含む)の具体的な基準(科目配置を決定する指標)等について、DP、DPに定める「学生に保証する基本的な資質」とCPの内容との整合や、順次性や系統的履修といった教育効果を視野に入れながら再検討し、学士課程全体の体系性・順次性を明確にするため、「カリキュラムマップ」等に基づいた「カリキュラム評価」や「ナンバリング」の導入についても検討する必要がある。改善計画・実行PLANに示している検討スケジュールに従い、改善していただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2013年度からの全学的課題事項として、現在、当該組織である教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携して取り組む。

基準	評価項目	2015年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準4】 教育内容・ 方法・成果	(教学部) ■評価項目No.431 教育方法および学習指導は適切ですか。	認証評価の結果、努力課題となった「全学部の履修登録上限について、学部によってその取り扱いが異なるが、例外事項が多く随意科目以外にも卒業研究・卒業論文や特定の専攻科目がその対象外となっているので、単位制度の趣旨に照らし、改善が望まれる」点については、単位制度の実質化の観点から、DPやCPの内容に照らし、教育上必要な単位・科目を例外事項に含まないよう継続して改善に取り組んでいただきたい。【努力課題】	◎教学部 (各教学責任主体)	2014年度からの全学的課題事項として、現在、当該組織である教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各教学責任主体が連携して取り組む。
	(教学部) ■評価項目No.442 学位授与(卒業認定)は適切に行われていますか。	認証評価結果において努力課題となった「全研究科の博士後期課程において、修業年限内に学位を取得できず、課程の修了に必要な単位を取得して退学した後、在籍関係のない状態で学位論文を提出した者に対し課程博士として学位を授与していることは適切ではない」ことについては、研究科における学位論文の審査基準や指導計画(教員側から学生へ行う具体的な指導行動とその目的)の適切な明示とともに、早急に改善する必要がある。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2014年度からの全学的課題事項として、現在、当該組織である教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各研究科が連携して取り組む。但し、「研究科における学位論文の審査基準や指導計画(教員側から学生へ行う具体的な指導行動とその目的)の適切な明示」については、新たな論点であるため、「大学全体の視点に係る課題事項」として、大学院運営委員会のもとで取り組む。
【基準5】 学生の 受け入れ	(教学部) ■評価項目No.503 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	研究科における入学定員に対する入学者数の割合は、一部研究科においては、大幅な未充足状態が続いている。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2011年度からの全学的課題事項として、現在、当該組織である教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各研究科が連携して取り組む。
【基準7】 教育研究等 環境	(教学部) ■評価項目No.704 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されていますか。	昨年、留意点となっていた教員の教育・研究の環境整備に関する方針は策定されていないので、方針を定めるとともに明示する必要がある。【努力課題】	◎教学部 ◎研究部	関係組織が連携を図り、教員の教育・研究の環境整備に関する方針を策定する。